

# 豊かな狛江

狛江市東和泉1-1-18いづみ荘103号室  
新日本婦人の会狛江支部気付  
連絡先：080-5084-1821（前土肥）  
郵便振替口座番号 00140-3-727253

第273号（2023年4月号） / 2023年4月1日発行

## 狛江市議会本会議 市民要求に基づく組替え提案を否決！

3月27日の市議会令和5年（2023年）第1回定例会本会議最終日に、日本共産党市議団と平井里美議員が松原市長提案の一般会計予算に対し編成替えを求める動議を共同提案しました。

日本共産党市議団鈴木えつお議員が編成替え動議の提案理由を説明し、岡村しん議員と平井里美議員が動議賛成、原案反対の討論を行ないました。自民・公明・立憲など他の会派・議員が反対し、編成替え動議は否決され、原案通り可決されました。

今回の予算の特徴ですが、一般会計予算総額は316億円余で、市税収入が2億6千万円増、など、市が自由に使える一般財源が軒並み増えています。この10年間で一般財源総額は28億4千万円も増えました。長年の財政確立の努力が実り、市民のために使える予算が大幅に増えています。

一方、市民の生活は、昨年来の物価高騰の継続・拡大や実質賃金の低下、年金の実質引下げ、高齢者の医療費窓口負担の2倍化など、大変厳しさを増しており、今、市民の命と暮らしを守るとりくみが急務となっています。

しかし本予算は、学校給食費の第3子以降の無償化予算や帯状疱疹ワクチン接種への助成など、市民が求めてきた施策が計上されているものの、事業者への電気代補助等の再支援策はなく、物価高騰の中での市民生活支援策は、あまりに不十分です。

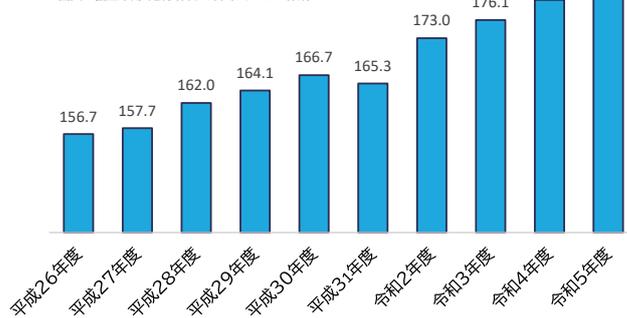
さらには、中央図書館の分割・移転を決めた、市民センター改修等基本方針は、市民参加条例に違反する疑いがあり、多くの市民からも、基本方針は一旦保留し、中央図書館は現在地で充実させてほしい

という要望が出されていますが、本予算は、中央図書館の分割・移転を、そのまま推進するものとなっています。

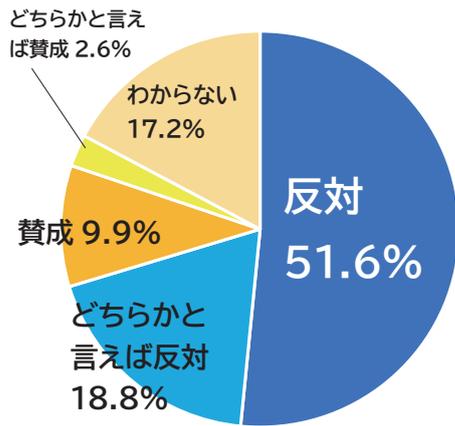
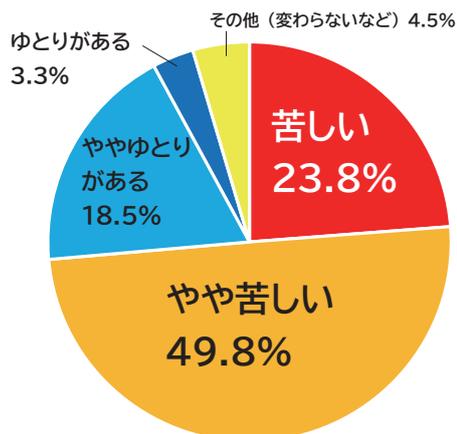
一方、本予算の編成替え動議は、物価高騰のなか、学校給食費無償化を第2子以降に拡大するとともに、市内中小零細業者に5万円～30万円を支給、また補聴器購入費助成（上限4万円、1／2補助）、民間アパートに住む低所得のひとり親家庭への月1万円の補助、全小中学校のトイレに生理用品を常備する予算を新に計上、一方、市民参加条例の手続きを踏まず市民の願いに反する中央図書館の分割・移転を進める予算や、事実上法律婚を前提とし多様な家族の在り方を求める方々を傷つける「多摩マッチングプロジェクト関係費」を削除するものです。財源は、この間の財政改善のなか20億円余に積み増しされた財政調整基金を1億円余とりくずして実施することを提案。全体として、原案の問題点をただし、市民の願いにそって充実発展させるものでしたが、通りませんでした。

### 狛江市の一般財源総額（自由に使える財源）の推移

\*平成26（2014）年度～令和5（2023）年度の10年間  
\*単位：億円、10年間で28億4千万円増加  
出典：狛江市財政課資料より鈴木えつおが作成



<参考> 日本共産党狛江市議団の市政アンケート結果より



## 学校給食費無償化に向けて市議会に陳情 総務文教常任委員会で3：2で採択！

こまえ社会保障推進協議会（社保協）では学校給食費の無償化を求める市長・教育長宛の署名を集めるとともに、3月議会に陳情書を提出しました。3月7日の総務文教常任委員会に付託され、社保協から周東三和子が意見陳述を行いました。討論では日本共産党西村議員、生活者ネット松崎議員、立憲民主党高木議員が賛成討論、自民党・明政クラブ篠議員は国や都がやるべきこととして反対、採決の結果3：2で採択されました。27日の本会議にかけられます。以下、意見陳述文です。

### 学校給食費無償化に向けて

子どもたちの栄養改善のために始まった学校給食の役割は時代とともに変わってきました。現在子どもたちの食を巡る状況はさまざまです。家庭に事情があり朝食を抜いて登校する子や、食事が偏った子、給食がない夏休みなど長い休み中に痩せる子もいます。家庭内暴力や虐待に苦しむ子もいます。特にコロナ休校による学校給食の停止により、給食の重要性が再認識されるようになりました。

「食育」の大切さが注目されているなかで、学校給食の果たす役割はさらに重要になっています。給食は単におなかを満たすだけでなく、栄養を考えた献立を、家庭の枠を超えて皆で囲み、味を知る機会でもあります。子どもを社会の宝として育てていく上で、農薬などに汚染されていない安全な食材を提

こまえ社会保障推進協議会 周東三和子

供する取り組みは、地域の教育や福祉の底上げにも役立ちます。

日本国憲法では義務教育は無償とすることが定められていますが、実際には学用品はじめ「隠れ教育費」と呼ばれる多くの保護者負担が生じています。その中でも給食費は大きな割合を占めています。物価高騰やコロナ禍による生活不安のもと、給食費の支払いは保護者にとって大きな負担になっています。狛江市の場合、多摩地域の中ではいち早く給食費補助が行われ一番安いとは言え2022年度現在、児童一人当たりの月額で小学校低学年3,845円、中学年4,067円、高学年4,289円、中学校4,768円の支出を余儀なくされています。

すべての子どもが、給食費の心配なく平等に給食

をたべられるようにするためにも、保護者の給食費負担を軽減することが求められています。全国では無償化を実施する自治体が260を超えると報道されています。東京都では新年度から中央区、台東区、品川区、世田谷区、北区、荒川区、葛飾区、足立区（中学校のみ）が無償化する方針ですし、島嶼部ではすでに以前から多くの町村が無償化を行っています。

憲法26条第2項に義務教育はこれを無償とすると規定されています。一方「学校給食法」11条では食材費は保護者負担と定められていることを理由に無償化に消極的な自治体もありますが、すで

に2018年の国会質疑で地方自治体等がその判断によって全額補助を行うことを否定するものではないとの文部大臣答弁が出されています。

粕江市でも、ぜひ多摩地域の先進自治体として学校給食費の無償化を実現していただきたく、以下の取組みをお願いいたします。

- 1 小中学校給食費の保護者負担を無料にしてください
- 2 小中学校給食費を無償化するための財政措置を国及び都に求めてください。

## いよいよ市議会議員選挙 / 16日告示、23日投票

# 「市民が主人公」の後退許さず 市民の願いを実現する議員を市議会へ！



いよいよ市議会議員選挙まで1ヶ月を切りました。今度の選挙には、定数22人に対して30人以上が立候補の見込みです。現職のうち交代するのは共産党の鈴木悦夫議員、自民栗山たけし議員の2人だけ。自民党・明政クラブ現職6人+新人1人、自民現職辻村議員、公明現職4人、共産党現職3人+新人2人、立憲民主党現職2人、生活者ネット現職+新人、無所属現職平井議員、三宅議員、吉野議員。“反自民”票の取り込みをめざす勢力から維新、れいわ、都民ファーストなど新人が多数出馬表明、社民元職市原広子氏も出馬表明しています。

現職議員は議会で果たしてきた役割は議事録などで明らかですが、新人候補については、どんなことをやろうとしているのか、本人の言葉だけでなく、所属する政党の言っていること、やってきたことなどをきちんと見極め、市民にも知らせていく必要があります。

イベントや、賑わいには熱心でも、市民の暮らし

に直結する要求は国や都の施策待ちで、決して先進的にやろうとしない市政に対して、自民・公明の多数派与党は市長提案に賛成するだけで、議会のチェック機能を果たしていません。また粕江市議会における、国に対する意見書の採択結果をみると、どの党が市民の立場を代表しているか明確です。辺野古新基地、消費税増税、補聴器助成、都立公社病院独法化、少人数学級、五輪中止、インボイス、介護職員の処遇改善など、広範な市民の願いを市議会自民・公明が反対し、不採択・否決してきました。

「豊かな粕江をつくる市民の会」が協定を結び推薦している日本共産党は現有4議席から1議席増をめざしています。新人2人はまだ知名度浸透に課題を残し、現職3人も当落を争う厳しい選挙になっています。

「市民が主人公」の市政実現のために、つながりのある方に働きかけて、市民の願いを実現する議員を市議会に送り出しましょう。

## 4月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、320部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
2日(日) 14時～16時	狛江駅前/ 市内デモ	リレートーク&市内デモ	戦争なんてイヤだ! 狛江市民 実行委員会
3日(月) 16時30分～ 17時30分	狛江駅前広場	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡 会》《こまえ九条の会》
9日(日) 15時～16時	狛江駅前	9の日行動 = 駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ! 狛江市民 実行委員会
11日(火)	狛江駅前	フラワーデモ休みます。	
20日(木) 10時～12時	中央公民館	《平和憲法を広める狛江連絡 会》《こまえ九条の会》合同世 話人会	新しい方の参加大歓迎です。
24日(月) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出 席ください。
26日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》 の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支 部などが中心。第4水曜日。
5月1日(月) 12時30分～	井の頭公園西 園	三多摩メーデー	三多摩労連
5月1日(月) 16時～	みんなの広場	『豊かな狛江』5月号印刷	
5月2日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』5 月号の製本・仕分け作業	作業日が通常と異なりますの で、よろしくお願ひします。
5月3日(水・ 祝) 13時～	有明防災公園	憲法集会	10:45 狛江駅改札口集合

※コロナ感染状況によっては中止になる場合もあります。

# ちょこみなトークライブ

3月3日（金）18：00～20：00 調布たづくり

テーマ：「政治を変える！市民と野党共闘の展望は？」

講師：菱山南帆子さん（許すな！憲法改悪・市民連絡会事務局長）

市民連合「ちょこみな」@東京22区主催の「第13回トークライブ」が3月3日（金）に菱山南帆子さんを迎えて、調布たづくり映像シアターで開催されました。参加者数44名（狛江から6名）

開会あいさつで、「戦争はいやだ！調布市民の会」の鈴木彰さんが、「ちょこみな」誕生の経緯、野党共闘失敗（共倒れ）の教訓、野党共闘の必要性、衆議院10増10減に対応した取り組み、「一致点で共闘する」大きな構えを大切にしよう！と訴えました。

この問題意識を受けて、講師の菱山南帆子さんは概ね次のように話されました。（概要）

## ○情勢

・安倍元首相の「国葬」強行によって岸田内閣の支持は低下した。これは私たちの反対運動があったからだ。

しかしその後岸田政権は、安保3文書閣議決定、原発汚染水海洋放出・新增設、台湾有事の危機感を煽り、「戦争する国」へのパズルのピースをはめた。（特定秘密保護法、集団的自衛権行使、共謀罪、戦争法、通信傍受法）

・タモリをして「新しい戦前」と言わしめる状況になってきている。

Jアラートに地下シェルター？ 横文字に言い換えているが、結局戦中の空襲警報と防空壕である。

防衛費（軍事費）の倍額。

ナチスもうらやむ戦前戦中から今につながる右派が握る自治体の主導権—町内会での戦時下訓練（相互監視、バケツリレー、ハンカチ運動など）



・新しい軍国・愛国教育はSNSを通して。（贅沢は敵・足りぬ足りぬ工夫が足りぬ→「ミリメシ」（ミリタリー飯）。おしゃれ節約術の罠（国防婦人会は節約術から始まった。）

## ○女性たちが立ちあがり始めている

・戦争が阻むジェンダー平等と社会内暴力について

・日本のジェンダーギャップ指数116位（146か国中）がどういった国の中にいるのか。115位はブルキナファソ、117位はモルディブ）

・国会内における男女比率と国会議員の差別発言

・市民運動内における女性差別

○若い人が立ち上がらない、と言うけれど、今の若者たちが置かれている状況を考えるとそれなりの理由がある。

・現在の不安定で将来が見通せない状況の中で、若者たちは“老後”のために生きざるを得なくなっている。

・公務員になれない・正規で働けない→労働組合を知らない→労働者意識の薄弱化が起きている。

## ○運動のアップデート

このような状況の中で市民運動を活性化する道として、菱山さんは次のように提起しました。



・やめよう、上から目線——共感と傾聴の姿勢が運動を広げるコツ

・悲壮感で人を動かすのをやめよう——楽しくて分かりやすいことは悪いことじゃない。成人式でシールアンケートをしたときには多くの若者が参加してきた。紙芝居も結構受ける。

・今までの市民運動史に自信を！成功体験はたくさんあった！例えば憲法を一つ取ってみても一歩も変えさせていない。

・市民と野党の共闘を盛り上げるには？ やはり“無党派層”を取り込むことが重要課題だ。

(報告 小俣三郎)

## 「九の日行動」

3月9日(木)午後3時～4時 狛江駅北口

この日も東京土建狛江支部の皆さんが机や幟旗、署名用紙、プラカードなどを運んでくれ、参加者も15人と多く、ハンドマイクを使って岸田政権の軍拡路線などへの反対を訴え、憲法9条改悪反対の署名を集めました。

国会では改憲派の自・公、維新、国民等が衆議院の憲法審査会をどんどん推し進めようとしています。3月9日、16日の第2回、3回審査会において**緊急事態条項の新設**を巡って意見を交わしました。国民の抵抗感が少ない項目から始めてやがて9条改憲まで進めることを目論んでいると考えられます。

同時に、岸田内閣は2023年度の防衛予算案を6兆8219億円とすることを決定し、米からトマホーク巡航ミサイルを調達するなど、反撃能力に必要な装備をそろえるほか、24年度以降も増額し続け、来年度から5年間の防衛費を43兆円にする《大軍拡、大增税》を目指しています。世論はこの防衛費増額について、66%が「説明不十分だ」と感じている(NHK3月10～12日実施)にも拘わらず強行しようとしています。

この様な動きに反対することを訴えながら署名を集め「9条改憲NO!」と「大軍拡・大增税反対」の両方で28筆集まりました。



## 改めて、中央図書館の分割・移転問題と狛江市政を考える

○これまでの経緯を全く無視、踏みにじるようにして「基本方針」を庁議決定した。

基本方針は中央図書館の分割・移転、高架下の市民活動支援センターの市民センター移設、そこには取り壊される商工会館を移設。駄倉地区センターと駄倉小学生クラブは廃止するというもの。

○この方針でメリットがあるといえるのは、面積が増える商工会とあえて言えば市民センターに入る市民活動支援センターぐらいで、もっとも市民から要望が強く、この間の問題の焦点であった図書館の充実と公民館の充実は明らかにおざなりになった。ここでは図書館に絞って考えたい。

松原市長は、なぜ、誰が見ても現状より後退しかねない中央図書館の分割・移転という“非常識な“計画に固執し続けるのだろうか。駄倉新図書館は共有面積で比較すれば現状より狭くなり、現在1階フロアが3階に分散し、閲覧スペース・読書スペースはカウンター席かせいぜい机が1、2台で、専用の読書室は無い。もちろんイベントもできない。借りに行くだけの図書館に過ぎず、市民が求めている滞在型の図書館とは程遠い。外を見れば庭はなく、一般の駐車場もなく、自転車も二十数台。さらに大きな問題は、ここには児童図書は無く、新聞・雑誌はなく、生活関連資料の一部もない。

市長「決定」でなく「案」であれば、図書館不要論者かそれに近い人を除けば、誰も賛成しない。何となれば、市の検討案の中には同様な建築計画でも公民館の一部を分割する案があり、その方が被害は小さいと想定さ

れる。さらに同様の予算規模なら、現在地で別棟増築などの案があり、その方がまだしも市民の希望に沿っているからである。

唯一、市長が主張しているのは声を出しても良い子ども図書館と静謐な大人図書館を分割したとのことだが、どこの図書館でも新たに造るときは同じ図書館内で工夫している。400mも離れた別図書館にすれば逆に駄倉新図書館には親子連れや子どもは来るな！と言っているに等しい。市民不在の図書館構想と言っても言い過ぎではない。

2020年6月までは市民センターの増改築で検討されていたものを、市長は、専門家はおろか庁内の担当部署にも相談せずに、8月に突然、図書館の分割・移転の「基本方針」をほとんど内容の議論なく「庁議決定」した。以後、「基本方針」に反する一切の意見は聞くこともせず、切り捨てた。市長は意識していたか無意識かは別として、意見を聞けばこの方針は通らないことを自覚していたのではないだろうか。つまり、市民には通らない、説得することすら不可能な「酷い計画」であることを自覚していたと思われる。

それなのに、なぜ？

高層ビル建設を含む駅前再開発計画が始まろうとしている。まちづくり全体が身勝手な同調意見しか聞かずに進められれば「**ともに創る文化育むまち**」という狛江のめざす都市像は実現するのかどうか怪しい。何としても、その最初である狛江市の文化をおとしめる図書館の分割・移転に反対し、計画の再考を求めたい。

# 大軍拡・大増税反対！市民に優しい政治を！

## 4.2 駅前リレートーク&市民デモ

政府は2027年までに軍事費を倍増し、年間11兆円規模にする計画を決定しました。その財源のために東日本大震災の復興財源である復興特別所得税を流用するなど、大増税と社会保障の切り捨てを推し進めようとしています。全国で「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」も取り組まれています。まず地域から市民にやさしい政治に変え、国にも訴えていきましょう。手作りプラカードなどを持って参加しましょう。 **戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会**

4月2日(日)14時 狛江駅北口前

14時~14時30分 リレートーク ➡ 和泉中央児童公園へ移動

14時45分 デモ出発 1時間くらいの予定

### 狛江の自然



#### オオバン

額（ひたい）が白い水鳥。冬、狛江の多摩川の水辺でよく見かける。首を前後に動かしながら泳ぎ、水草をよく食べる。潜水もよくおこなう。

写真は、そろそろ関東以北・東北地方に戻る準備をしているところ。

高橋 廉（岩戸在住）